

議会報告・意見交換会 記録(集約)

平成27年度

| 会場 | 区分 | 質疑・意見・要望の要旨 | 取扱に至った経過、対応方針等 |
|------|-----------|--|---|
| 佐久 | 市民 | また、独居老人の対応については、もっとこまめに民生委員の方に見回してほしい。 | 貴重なご意見として市側へ伝えてまいります。 |
| 佐久大学 | 学生 | タクシーの無料化、または割引サービスの実施。(高齢者に対して) | 市では平成24年10月より、運転免許自主返納者の申請により、市内巡回バス、廃止代替バス、デマンドタクシーの各路線共通乗車券200円券11枚綴り10組を1回に限り交付しているとのことです。貴重なご意見として市へ伝えてまいります。 |
| 佐久大学 | 佐久大学アンケート | 車の免許のない、運転をしてはいけない(免許返納者)高齢者のために、交通の補償を考えてほしい。デマンドタクシーの活用、介護タクシーの活用など。免許返納高齢者には、タクシー代割引券、無料券を毎月10枚提供する。 | |
| 臼田 | 市民 | ジェネリックについて市として推進しているのか。 マイナンバーの再発行に500円かかる。受け取りが出来なくて市に戻った場合、3か月経っても破棄せずに取っておけばいい。 | 市は、ジェネリック医薬品の使用促進を、医療費削減策の重要な施策として推進しています。また、マイナンバーの取り扱いについては、自治省からの「通知カードの運用上の留意事項」の手順により市において3か月保管した後通知カードは廃棄し、通知カード再交付(再交付手数料500円)となるとのことです。 |
| 佐久 | 市民 | ・国保会計における医療費の節減のためジェネリック薬品の使用促進ということだが、TPPとの関連をどのように考えているか。また、ジェネリック医薬品の使用促進以外の医療費削減策はあるのか。 | ジェネリック医薬品とTPPとの関係については、国において決定事項ではないので、動向を注視していきたいと考えています。また、医療費削減策については、その他には、国保税収納率の向上、予防医療の観点から、重症化する前に医療機関を受診することの勧奨を実施していくと聞いていますが、ジェネリック医薬品の使用促進については、その必要性を広く市民に呼びかけると共に歯切れの良い医療費削減策をとるべきであると市側へ伝えていきます。 |
| 臼田 | 市民 | 国保会計が決算により歳入が不足した。市町村消滅ということが言われているが、佐久市も人口の高齢化がすすみ、医療費その他経費がかかってくる。女性の場合約50%が貧困状態にあると聞くと、佐久市の財政から見て、医療、社会福祉などやって行けるのか。 | 市の財政負担、軽減措置を受けている方を除いた被保険者の国保税負担、他の健康保険に加入する市民の税金による負担の公平性等を勘案する中で、合理的な判断を議会として行っていききたいと考えています。 |
| 臼田 | 市民 | 佐久医療センターの開設で保険給付費が増えている。構造的に佐久医療センターでの医療費が保険負担の大きな要因になっている。行政と議会が対応する必要があるのではないかと。例えば、肺炎で2週間入院した場合に、一般の市内の病院だと30万。医療センターだと60万と費用に差があるようだが。 | |
| 望月 | 市民 | 国保税17%上がっている。1億3千7百万円を繰上げ充用した。今年度も6億円程度の赤字が出るのが明らかになった。これは明らかに行政の怠慢。根本的な崩壊になる。議会としてどう対応するのか。構造的な問題を把握して、至急対処するよう行政に出していただきたい。 | |
| 佐久 | 市民 | 県で「手話言語法」についての動きがあるが、市ではどうか。 | 市議会では平成26年6月「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書を国・行政機関に対し提出したところです。今後の市の動向について注視していきます。 |

議会報告・意見交換会 記録(集約)

平成27年度

| 会場 | 区分 | 質疑・意見・要望の要旨 | 取扱に至った経過、対応方針等 |
|------|-----------|--|--|
| 佐久 | 市民 | ・民生委員をしているが、65歳以上の人、障がい者の個人情報には消防署が確実に把握すべきと考える。また、市当局から民生委員への働きかけも重要。 | 貴重なご意見として市側へ伝えてまいります。 |
| 浅科 | 市民 | 創練センターでは手話通訳があったようだが、申請はどのようにするのか。 | 手話通訳者、要約筆記者については、「佐久市コミュニケーション支援事業実施要綱」により派遣を受けることができます。詳しくは福祉課になります。 |
| 臼田 | 市民 | みんなが不安のないよう福祉行政をしてほしい。 | 貴重なご意見として承ります。 |
| 佐久 | 市民アンケート | 手話は言語。大事なコミュニケーション。大事な課題です。 | 貴重なご意見として承ります。 |
| 佐久大学 | 学生 | 医療の現場は非常に厳しい中で、夜勤になった時に子どもを預けることは難しいことで、最初は大きな病院に勤めて、その後で子どもが生まれたら小さな病院に移りたい。 | 貴重なご意見として参考とさせていただきます。 |
| 佐久大学 | 学生 | 佐久市は高齢者向けの医療、介護等充実している。包括支援センターによる支援活動もよい。 | 貴重なご意見として承ります。 |
| 佐久大学 | 学生 | 佐久市は訪問介護が充実していてよい。 | 貴重なご意見として承ります。 |
| 佐久大学 | 学生 | 介護系の学校なので、介護職の印象が悪い。職場の改善も必要。 | 貴重なご意見として市へ伝達します。 |
| 佐久大学 | 佐久大学アンケート | 少子化対策とした、他の自治体にはない母親と子どもに対して手厚い補助を考えてほしい。子どもが安全で育てやすい環境づくり。 | 貴重なご意見として承ります。 |
| 佐久大学 | 佐久大学アンケート | 介護のイメージの払拭。待遇の改善、もう少し介護に触れる機会を小さいときからあってもいいのではないかと。 | 貴重なご意見として市側へ伝えてまいります。 |
| 佐久 | 市民 | ・市内の医療機関において、居住地域によって患者の受け入れに制約があるか。以前にそのような理由で断られたとの話を聞いたことがあるが。 | 佐久市内の医療機関において、そのような扱いはないと考えます。 |
| 佐久大学 | 学生 | 産後の母親が、市主催のケアの家の集まりに、自主的に参加できるように。(無理して参加している場面もある)例えば、ネット、SNSを使ったアドバイスが欲しい。さらに、病院医師とのネットワークが出来ればよい。 | 子どもの疾病対応事業として、出前講座「教えてドクター」の実施(H27年度事業)や、子育て中の困りごと悩み事に対応した「子育てコーディネーター」事業が開始されたことから事業の動向を注視していきたいと考えています。 |
| 佐久 | 市民 | 2年前の大雪のときに、放送があったらしいが自分が聾唖のため、放送の内容が判らなかった。外にでてみたら周りの人が怒っていて、雪をぶつけられたりした。聾唖者を含むコミュニケーション(情報の確実な伝達)が大切。 | 防災・防犯情報や緊急のお知らせを、メール、電話、FAXで受信できる、佐久市情報配信サービス「さくネット」が平成27年7月から始まりました。情報収集の手段として広く市民に周知するよう働きかけます。電話、ファックスをご希望の方は、広報情報課になります。 |
| 佐久 | 市民 | 聾唖者や障がいを持った人たちの氏名、電話番号等の情報を防災担当者と共有してもらえないか。 | 障がいをお持ちの方の情報共有については、現在、市において「要配慮者支援マニュアル」策定に向けた検討を進めているとのことですので、その動向を注視していきたいと考えています。 |

議会報告・意見交換会 記録(集約)

平成27年度

| 会場 | 区分 | 質疑・意見・要望の要旨 | 取扱に至った経過、対応方針等 |
|-----|-----|--|---|
| 消防署 | 消防団 | 他市町村では、靴にGPSを付けるということが実用化されているようだが、佐久市として、その手段を補助等を含めて講じられないか。 | 現在佐久市では、「佐久市はいかい高齢者家族支援サービス事業補助金交付要綱」により、「GPSを使った認知症徘徊高齢者の探査システム」の利用契約に係る初期費用の2分の1以内の額、6,000円を上限に補助を行なっていますが、利用者が少ないことから推進するよう働きかけます。 |